

中学生の保護者のみなさまへ

今年度から新しい「学習指導要領」がスタートしました

「学習指導要領」とは？

全国のどの学校でも一定の水準が保てるよう、文部科学省が定めている教育課程（カリキュラム）の基準です。およそ10年に一度改訂され、これを基に生徒の教科書や時間割が作られます。

「学習指導要領」の改訂に込められた願い

これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。そして、明るい未来を、共に創っていきたいという願いが込められています。

「学習指導要領」の改訂に伴い、生徒の学びが進化します

一つ一つの知識がつながり、「わかった!」「おもしろい!」と思える授業に



周りの人たちとともに考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業に



学んだことを人生や社会に生かそうとする

学びに向かう力、人間性など

社会に出てからも学校で学んだことを生かせるよう、三つの力をバランスよく育みます。

実際の社会や生活で生きて働く

知識及び技能

未知の状況にも対応できる

思考力、判断力、表現力など

見通しをもって、粘り強く取り組む力が身に付く授業に

自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業に

学習指導要領の改訂により、通知表の評価の観点が変わります

<旧>

関心・意欲・態度

思考・判断・表現

技能

知識・理解

<新>

知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度

各教科等における知識及び技能の習得状況や他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかを評価します。

課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価します。

自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど※自らの学習を調整しながら学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価します。
※「自らの学習を調整」とは、自らの学習状況を把握し、よりよく学ぼうとする意欲をもって学習に取り組もうとすることです。



通知表は生徒が各教科等の目標をどの程度達成できたかを示しています。御家庭では、評価をもとに、よく達成できているところは認め、課題があるところは今後どのように学習していくかを一緒に考える材料にしてください。